



# News Release

97 - XX - 01  
1998年3月31日

## 日本格付研究所の組織改正について

格付部門における企画・調査機能の強化と国際部門の分離独立

日本格付研究所は、本格的格付け時代の到来を迎え、格付部門の更なる機能強化を主な目的として、4月1日から以下の組織改正を行います。

### 1. 組織改正

格付企画部は、従来、格付基準を管理する総括管理室と非居住者審査を行う非居住者班により構成されていたが、非居住者班を独立させ国際格付部として機能強化を図る。

新しい格付企画部は、総括管理室、金融格付室、商品企画担当を置き、格付機能・商品開発等の企画機能を強化する。

国内マーケットの格付業務を行う格付部に、新たに業界調査・分析の担当を設け、調査機能の充実を図る。

### 2. 組織改正のねらい

債権流動化商品・保険金支払能力等の格付ニーズ、格付対象の多様化に対応する機能的組織が必要となった。

個別企業の格付情報に加えて格付けの判断基準、業界に対する考え方等、幅広い情報発信を進めていく体制作りが必要と判断した。

### 3. 今後の方針

情報発信の活発化と格付対象先の拡大

1

当社の格付けは、投資家に対して信用リスク情報を提供するものであり、個別債券等の購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

**株式会社 日本格付研究所**

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町21番7号  
兜町ユニ・スクエア

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)  
QUICK (和文: QR / 英文: QQ) TELERATE

<お問い合わせ先>

TEL: 03-5695-2573 FAX: 03-5695-2582 担当: 情報部  
<http://www.jcr.co.jp>



# News Release

格付けの普及・定着に伴い、利用者サイドからより広範な格付情報が求められていることから、上記の業界調査・分析の意見発表を活発に行うと同時に、個別企業の格付け評価についても、主要企業も含めて逐次発表していく。

## 信用リスクの計量モデル

当社では、98年度上期末を目処に、個別企業の格付評価モデル・倒産確率モデルを開発中である。この計量モデルを活用することにより、格付けにおける定量分析の標準化を進め格付けプロセスの明確化を図ると同時に、財務格付け等商品ラインナップの拡充を目指す。

## 新商品への対応力の強化

A B S等の債権流動化案件への取り組みを今まで以上に強化する一方で、新たに商品専担者を置き、不動産流動化案件等の新商品への対応力強化を図る。

以上

2

当社の格付けは、投資家に対して信用リスク情報を提供するものであり、個別債券等の購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

**株式会社 日本格付研究所**

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町21番7号  
兜町ユニ・スクエア

<情報提供電子メディア（検索コード）>

BLOOMBERG (和文：JCRA / 英文：JCR) REUTERS (EJCRA)  
QUICK (和文：QR / 英文：QQ) TELERATE

<お問い合わせ先>

TEL：03-5695-2573 FAX：03-5695-2582 担当：情報部  
<http://www.jcr.co.jp>